

第4次亀岡市総合計画後期基本計画特別委員長報告

H28.3.28

第4次亀岡市総合計画後期基本計画特別委員会に付託されました第56号議案、第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～後期基本計画を定めることについて、審査の経過概要と結果を報告します。

第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～後期基本計画については、平成26年に総合計画審議会及び策定部会を立ち上げられ審議を開始されました。その後、およそ2年にわたり、総合計画審議会等を随時開催し、また、市民アンケートを実施し市民意識の把握を行う中で、部長等で構成する庁内組織も設置し、審議会での議論と並行して、内容を精査されてきました。概ね計画案を固められた平成27年12月にはパブリックコメントを実施され、議会においては12月16日に全員協議会を開催し、行政報告としてその内容について説明を受けたところであります。

議会では、計画案が3月定例会に上程されることを見据え、ただちに議会運営委員会において取り扱いを協議し、内容の精査・検討を行い、議会からの「意見・質問」として47項目を取りまとめ、1月12日に桂川市長に送付し、2月9日にはその回答を得ました。その後、3月定例会に議案として提出されたことを受け、12人の委員で構成する特別委員会を設置し、これまで議会として対応してきた経過を踏まえ、3月15日の集中審査に臨みました。

審査においては、議会からの意見・質問への対応状況や市長が掲げられた「かめおか・未来・チャレンジビジョン」の反映状況、また、京都スタジアム関連等にポイントを絞り説明を求める中で、提案された後期基本計画は基本構想で描く「目指す都市像」の実現に向けた具体的施策を示すものであるのかという視点を基本に、亀岡市の将来を左右する重要なまちづくり指針として、真に市民福祉の向上に寄与できるものであるかという目的に照らし、慎重かつ活発に質疑を行いました。

さらに、本市の財政状況を鑑み、社会情勢が目まぐるしく変化する中、今後の5年間のまちづくりに対応できるものであるのか、また、市長が提唱されている「選ばれるまち」「住み続けたいまち」を推進するためには、どのような施策を講じられるのか等について質疑を行いました。

討論では、事前に意見を述べた内容について十分に反映されていない、スタジアムを軸とする取り組みが市民福祉の向上に資するか疑問があるとする反対討論、また、「かめおか・未来・チャレンジビジョン」も十分に反映され、進行管理を行う中で計画は着実に実行できるものであるとする賛成討論があり、採決の結果は、賛成多数をもって原案可決すべきものと決定しました。

なお、今後において、策定期間を含めた総合計画のあり方について、よりよい方法を検討されることを望み、指摘要望事項といたします。

以上、簡単ではありますが、本特別委員会の報告といたします。